

花しゅうぶ

vol.33

仕事って男も女も関係ないんだね!!

レポート
少子化と
女性の社会進出の
関係は

レポート

「少子化と女性の社会進出の関係は」

少子化は日本に限らず、世界の多くの国に共通する現象です。そんな中で北欧の国々に目を向けてみると、一度下がった出生率を回復させて、女性の社会進出を推進する国があります。子どもを産み育てやすい社会には、どんな工夫があるのでしょうか？北欧諸国の中から、スウェーデンの社会保障をご紹介します。

子育ての時間の確保

- 両親あわせて育児休業を最大480日取得可
- 勤務時間短縮制度(子どもが8歳まで利用できる)
- 育児休業480日のうち父親母親それぞれに各60日を割り当てる(パイクアウト・マクアウト制)

経済支援

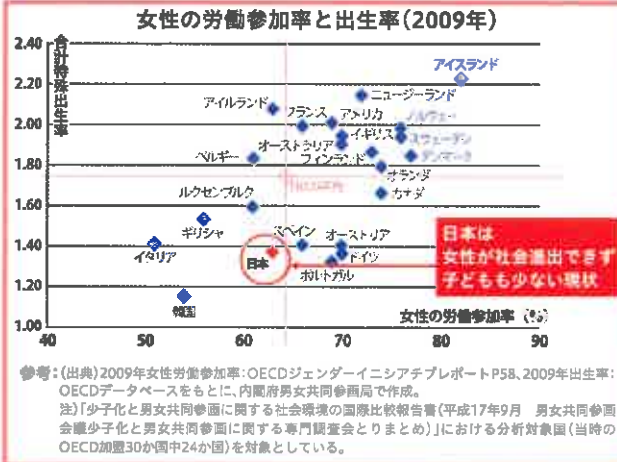
- 児童手当が第一子から16歳未満の子どもの親すべてに支給、16歳以上でも学業を続ける場合は18歳まで子ども本人に支給
- 育児休業期間のうち390日は、休業前給与の80%が支払われる(両親保険)

子どもの安心・安全

- 急な子どもの病気に休職を取る権利がある
- 子どもの病気が長引くときには、看護師の派遣を要請することができる
- 母親が出産や病気の時、両親に代わって子どもの面倒をみるサービスがある

スウェーデンでは男女が性別や経済事情に関係なく働き続けられるように、古くから社会が整備されてきました。家庭内にも男女平等の理念が息づいているので、男性が子どもの世話をするのは当たり前のことと捉えられています。社会保障においても経済支援だけでなく、子育ての時間の確保や子どもの安心・安全までもに細かな配慮がされています。

先進国のデータによれば、最近では女性の労働力率が高い国ほど、出生率が高いという傾向が見られます。



グラフをみて分かるとおり、欧米諸国では女性の社会進出が進んでいる国ほど、出生率も高くなっている傾向がみられるのです。これは、仕事と育児の両立が難しい社会では、仕事と育児の二者択一が迫られるために労働力率も出生率も低くなります。出生率が回復した国の多くは、育児保障施策を強化したり、短時間正規雇用の制度を設けるなどして、家族政策に力を入れました。日本でも、特に都市部の女性の子育て環境を改善することが、出生率の回復や労働人口の減少を食い止めるのに効果的と言われています。加えて父親の家事・育児参加です。育児期にある夫の一人あたりの家事関連時間は60分程度で、欧米諸国の男性の約3分の1の時間です。これは、日本人男性の長時間労働も理由の1つとされており、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭・地域などの活動について、各自が希望するバランスで時間を使える状態)の推進も重要です。もちろん、それとあわせて男性側の意識改革も欠かせません。

出典 内閣府・男女共同参画推進推進会議「ひとりひとりが幸せな社会のために」男女共同参画社会の実現をめざして 平成24年版をもとに「フレンドliness」グラフ作成

参考図書：「少子化克服への最終処方箋」著 嶋田 晴雄 渥美 由喜 「少子社会の子育て支援」東京大学出版会 参考資料：厚生労働省「2014年 海外情勢報告」(本文)P216～P229

今年で編集委員も3年目となりました。普段の生活では、お会いしない方とお話ができたり、色々な考えを伺うことができたり楽しく活動しています。男女の差のない平等な社会は、お互いの思いやりから、また日頃の生活から心掛けていきたいですね。

伊藤 朱喜



初めて編集委員をさせていただきました。紙面を制作するにあたって、男女共同参画について勉強しましたが、知らなかったこと、驚くことが多かったです。また、座談会では、情熱を持って仕事をされている方々に出会いとても勉強になりました。育児中の私にとって貴重な経験になりました。

松田 彩

編集委員：伊藤 朱喜 佐藤 忠光 中村 美紀 松田 彩

メールマガジン「男女共同参画情報」のご案内

桑名市では男女共同参画の推進に関する情報発信を目的とするメールマガジンの配信を始めました。桑名市で実施する事業の情報に加え、国、県の取り組みなどもこのメールマガジンにて紹介していきます。右QRコード、並びに桑名市ホームページ「便利なオンラインサービス」の「男女共同参画メール配信」からも登録できます。事業へのご参加並びに皆様の登録をよろしくお願い致します。



女性活躍推進法が制定されました

女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」が制定されました。詳細は厚生労働省ホームページ女性活躍推進法特集ページをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html>

お知らせ 男女共同参画をテーマとした「出前トーク」を実施しています。詳しくは下記までお問い合わせ下さい

この情報紙は市役所市民協働課、市役所総合案内、サンファーレサテライトオフィス、図書館、最寄りの地区市民センターなどにあります。よりよい情報が発信できるように、市民の皆さんからのご意見ご感想をお待ちしています。今後とも愛読どうぞよろしくお願い致します。

【発行】桑名市市民安全部市民協働課 〒511-8601 桑名市中央町2丁目37番地

☎0594-24-1413 FAX:0594-24-1735 メール:ccollabo@city.kuwana.lg.jp

仕事って男も女も関係ないんだね!!

看護師も保育士も以前は、女性が当たり前の職場でした。しかし今や、これらの職種にも男性の、また逆に男性の消防士の職場にも、女性の働く姿が見られるようになってきました。今回はそんな数少ない職種で奮闘する皆さんに、また女性として男性職人をリードする経営者の方にもその思いを語っていただきました。

座談会出席者



すし道場(有) 専務取締役
伊藤 純子さん
いとう じゅんこ



桑名市多度保育所 保育士
後藤 貴弘さん
ごとう たかひろ



JA愛知厚生連 海南病院 救命救急センター 係長 看護師
水谷 憲太さん
みずたに けんた



桑名市消防署 警防隊第1係 消防士 救急救命士
吉岡 里恵さん
よしおか りえ

きっかけはさまざま

司会 後藤さんが保育士になられたのは、学童保育のアルバイトがきっかけと伺っています。

後藤 はい。学生時代だったんですけど、色々教えていくうちに「さかあがり」とか少しの間に出来るようになって子供の成長を目の当たりにしました。その時、これが小学生ではなくてもっと小さい子供だったらもっとたくさん成長がみえると思い保育士を目指しました。子供はともっと好きでしたね。



吉岡 私は、最初から救急救命士になりたかったわけではなくて、短大卒業後の進路に悩んでいたとき、交通事故にあって救急車で搬送される経験をしました。その時の救急救命士の方がとても印象的で、私をばげまし落ち着かせてくれて、こういう人になれたらいいなと思ったのがきっかけです。短大卒業後、専門学校に通ってから、消防に入りました。

伊藤 私の場合は、創業して18年になるのですが、水産卸業の社長である夫が突然やると。飲食業は初めてだったので、幸い実家が商売をしていましたのでサービス業で大事なことはひとつです。ここまではやらせていただいております。

水谷 私は車が好きなもので、進路を決める時、工業系の学校と迷いました。実は父が病気がちで、姉が看護専門学校に行っていたこともあり、看護の道を選びました。10年前は男性看護師は少なかったです。

た、お別れるときは、看護師の経験が一番問われます。逃げたくなる場面ですが、とても大切な役割だと思つて、自分のできることを100%でやっています。

伊藤 ビジョンを持ち、真面目に努力を重ね続けることにより「夢はかなう!」ということを体感できることです。失敗とかあきらめは心のあり方だと考えています。従業員の家族にはさみしい思ひはさせたくはありませんので、従業員の家族まで考えることが大切だと思います。従業員に休め、休めと言っていますね。

後藤 保護者の方から「担当が後藤先生で良かった」と言ってもらえることです。最初は注意の仕方などで結構悩みました。男なので注意すると恐怖しか与えないんじゃないかと。なかなか強く言えませんでした。それが子供との信頼関係が出来れば問題ない。担任する子はひとりひとり個性があるし、毎年替わります。例えば泣いている子と接して全然泣きやまない時に違う先生が来てパツと泣き止んだら、それはその子にとって良かったなと思います。反対の時もありますし、そこはチームで職員が共通理解で行えばいいと思つています。

司会 女性の多い職場だからこそ、男性の役割があるということですね。またその反対もある。本来仕事は男性も女性も関係なく、お互い男女の特性や個々の特性を活かし



のですが、最近では毎年新人看護師の中に男性はいます。数は増えてきていますね。

司会 今の仕事を目標した時に、異性の多い職場ということは障害になりましたか?



後藤 なりません! (即答)ただ親には反対されました。大学を辞めて専門学校に行こうと思ったのですが、卒業だけはしてくれと言われました。50代、60代までその仕事が出来るとか。でも、今は応援してくれていると思つています。

吉岡 自分が女性だからというわけではなくて、仕事が大変そうで不安だなあと思うことはありました。でも、なろうと決めてからは男女は関係なかったです。

担任発表で「え〜!」が聞こえたことも
司会 皆さんのお話を伺っていると、男性だから、女性だからと意識せず働いていらつしやると感じます。今の仕事で苦勞していることがあれば教えてください。

吉岡 訓練は皆同じなので、体力的に厳しい時もあります。桑名は施設等も整備されていて女性でも働きやすい環境ですが、すべての消防署、分署に女性の施設があるわけではないので、働けるところは限られています。

水谷 男性だから苦勞しているというよりも、常に答えが同じ仕事でないという点が苦勞してい

て補つていければ良いですね。本日は皆さんありがとうございました。



伊藤 私は、仕事を苦勞と考えることはないです。仕事はするものという意識ですね。ただ子供が小さい時には、夫と交代で仕事と家庭を行ったり来たりしながら、協力し合っていた時期もありました。でも、そういう時はいつときでしたね。



後藤 以前の職場で担任発表の時、後藤先生が担任ですと聞いた親御さんから「え〜!」という声を聞いたこともありましたが、でも、私は保育は家庭の延長だと考えているので男性保育士はいて当たり前、必要だと思つています。

喜んでもらえるのがなにより
司会 今の仕事をしていて、良かったことややりがいを感じたことはなんですか。

吉岡 救急で搬送した方が元気になってお礼に来てくれたり、お礼の手紙をもらったりすることがあります。とてもやりがいのある仕事です。

水谷 男性の患者さんのところにいくと、「あんたが担当でよかったわ〜」と言われる方もいます。ま



みなさんそれぞれに仕事への熱意が感じられる座談会でした。男性の多い職場で働く女性、女性の多い職場で働く男性。男女差を不平に思ったり、障害と感じながら仕事をしているという方は思ったより多いようです。日本における労働の課題はいろいろありますが、一人ひとりが自分の個性と能力を活かして仕事をし、自分らしい人生を歩んでいけることがいいですね。